



一般社団法人日本アニマルウェルネス協会認定
ホリスティックケア・カウンセラーのためのスキルアップ専門講座

シニア犬介護コース

学習ドリル問題冊子

企画 株式会社 カラーズ・エデュケーション

目 次

問 題 冊 子

学習ドリル① (序章～2章)	1ページ
学習ドリル② (3章)	11ページ
学習ドリル③ (3章～5章)	22ページ
課題	33ページ

※最終ページを切り離してお使いください

学習ドリルの活用方法

- ① 学習ドリルはテキストや動画で学習した後の復習にお役立てください。
問題冊子自体の提出は不要です。各自で問題を解かれましたら、別冊の解答冊子をご覧ください。回答をご確認ください。問題のわからない箇所がある場合は、テキストをもう一度読んだり、ご自分で調べたり、事務局へ質問するなどして、学びを深めるようにしてください。
- ② すべての学習ドリルを解き、教材の内容が理解できたら、課題に取り組み、事務局にご提出ください。
 - 1) 本冊子の最終ページをミシン目で切り離し、課題を提出してください。提出物は専用返信封筒(お手持ちの封筒も利用可)に切手をお貼りいただき、講座事務局にご郵送ください。
 - 2) 課題提出時の郵送代金は受講生ご負担です。ご了承ください。
 - 3) 時折、配達事故が起きております。念のため提出課題のコピーをお手元に残しておいてください。
- ③ 上記課題を提出された方には、ご提出から3週間程度で、最終認定試験をお送りします。投函日から1ヶ月以上経過しても認定試験の送付がない場合は事務局までご連絡ください。
- ④ 2年間の受講期間内に課題と最終認定試験(追試含む)をご提出いただく必要がございます。遅くとも受講期間終了の1ヶ月前までに最終認定試験答案を投函できるよう、学習計画を立ててください。

一般社団法人日本アニマルウェルネス協会認定
ホリスティックケア・カウンセラーのためのスキルアップ専門講座

シニア犬介護コース

(株) カラーズ・エデュケーション 講座事務局

〒657-0036 兵庫県神戸市灘区桜口町4-1-1 ウェルブ六甲道4番街1番館402号室
TEL:0120-06-1270 FAX:078-858-1283 <https://www.hcced.jp/>

問14 シニア期に見られる「聴覚の低下」の症状として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 帰宅時や来客時に寝たままにいる
- B. 雷に驚かなくなる
- C. 呼びかけに反応しない
- D. 夜中に遠吠えをする ()

問15 シニア期に見られる「筋力の低下」の原因として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 被毛の退色により筋肉量が低下する
- B. 関節や腰に変性や疾患を持っている場合、活動量が低下するため筋肉量が低下する
- C. 活動量が減ることで皮下脂肪が増加し、太りやすくなり筋肉量が低下する
- D. 高齢になることで代謝が落ち、筋力や筋肉量が低下する ()

問16 シニア期に見られる「皮膚の変化」の症状として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 毛艶が悪くなる
- B. フケが多くなる
- C. 被毛が白っぽくなる
- D. 抜け毛がまったくなくなる ()

問17 シニア期に見られる「その他の変化」として、正しいものを1つ選びなさい。

- A. 高い所から飛び下りるのが上手になる
- B. 長時間の散歩ができるようになる
- C. 口臭がひどくなる
- D. 硬いおやつを好んで食べるようになる ()

問18 「免疫機能の低下」によって起こる変化として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 筋肉量が減少する
- B. ケガをしたときに治りにくくなる
- C. 細菌性やウイルス性の病気にかかりやすくなる
- D. 腫瘍性疾患に罹患しやすくなる場合がある ()

問19 「消化機能の低下」の説明として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 腸内の菌のバランスが変化する
- B. 運動時間の減少で消化管の動きが悪くなり、血流が低下し消化機能も低下する
- C. 今まで食べていたものであっても脂肪分の多いものは負担となる
- D. 腸の長さが短くなるため吸収が悪くなる ()

問41 犬高齢性認知機能不全症候群の症状として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 筋肉の形成異常
- B. 運動機能異常
- C. 姿勢異常
- D. 感覚機能異常 ()

問42 次の症状例の総称として、正しいものを1つ選びなさい。

・夜間覚醒 ・日中睡眠 ・寝てもすぐに目が覚めてしまう

- A. 排泄の失敗
- B. 活動の変化
- C. 相互関係の変化
- D. 睡眠サイクルの変化 ()

問43 認知症の対応として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 無視する
- B. 介護用品の利用
- C. 接し方の見直し
- D. 環境整備 ()

問44 認知症の対応法である「生活スタイルの見直し」として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 起きるまで暗くした環境で寝かせておく
- B. 犬の生理的欲求を満たす
- C. 日中の活動の増加
- D. 朝の日光浴 ()

問45 認知症の対応法である「シニア期に入った犬向け行動エンリッチメント」として、ふさわしくないものを1つ選びなさい。

- A. 罰を用いて強制的に行動させる
- B. 認知機能維持及び楽しみを増やすためのメンタルトレーニング（フードを使ったノーズワークなど）
- C. 適切な社会的関係（犬と家族、同居動物同士、外で会う人や犬に対してなど）
- D. 適度な運動やリハビリテーションプログラム ()